

2026 年 8 月 24 日

「JaPaniシステム」を活用したバングラデシュの分散型地方給水事業が 「第9回JAPANコンストラクション国際賞(先駆的事業活動部門)」受賞内定

日本国土開発株式会社（東京都港区虎ノ門4-3-13 代表取締役社長：林伊佐雄）は、当社がバングラデシュで推進する「JaPaniシステム」の活用による安心安全な飲料水を提供可能にする分散型地方給水事業が、このたび国土交通省主催の「第9回JAPANコンストラクション国際賞(先駆的事業活動部門)」の受賞案件として内定したことをお知らせいたします。

JAPANコンストラクション国際賞は、海外で優れた実績を上げた建設プロジェクトや建設分野の国際貢献活動を表彰する制度です。当社の取り組みが、開発途上国の社会課題解決と持続可能なインフラ整備への貢献として評価されたものと受け止めています。なお、表彰式は2026年9月3日に執り行われる予定です。



今回の受賞では、研究開発段階から現地での技術実証、分析体制の構築、人材育成、事業運営までを一貫して実施し、大学・分析機関・民間企業・行政機関が連携する持続可能な給水モデルを構築したことが高く評価されました。

バングラデシュの深刻な地下水ヒ素汚染の解決に向け、当社は早稲田大学との共同研究で開発したヒ素除去技術を基盤に、現地分析機関や政府機関と連携しながら「JaPaniシステム」の社会実装を進めてきました。

同システムは、Manikganj県とNawabganj県でJaPaniシステムを設置し、既存井戸を活用した効率的なヒ素除去と、現地資材や人材を活用した低コストで持続可能な運営を実現しています。また、安全な飲料水の供給に加え、雇用創出や技術移転を通じて地域社会の発展にも貢献しています。

当社グループは、長期ビジョン「社会課題を解決する『先端の建設企業』」の実現に向け社会課題解決型事業を推進しています。今後も、研究開発成果の社会実装を推進するとともに革新的な技術と持続可能なインフラ整備を通じて、世界の社会課題の解決に貢献してまいります。

この件に関するお問い合わせ先

日本国土開発株式会社 サステナビリティ経営本部戦略部 電話: 050-1735-9468